全資産・電算申告の場合

（記入例２）

資産名称を記入してください。

申告年度を記入してください。

帳票識別コード	
申告区分	☑当初申告 ・ □修正申告
処理方式	□一般処理 ・ ☑電算処理
申告書等送付番号	

所有者名	枚のうち 枚目
流山株式会社	

令和　　年度

種類別明細書（全資産用・プレ申告用）

行番号	異動区分（注1）	資産の種類（注2）	物件番号	資産の名称等	数量	取得年月（注3） 年号	年	月	元日取得（注4）	取得価額（注5）（イ）	耐用年数	減価残存率（ロ）	価額（ハ）	※課税標準の特例 率	※課税標準の特例 コード	※課税標準額	増減事由（注6）	摘要
01		1	0001	ガイコウコウジ	1	4	30	9		3,520,000	15		960,408			960,408		
02		1	0002	カンバン	1	4	30	9		1,440,000	10		204,040			204,040		
03		2	0001	タイヨウコウハツデンセツビ	1	4	30	9		3,240,000	17		1,023,137			1,023,137		
04	3	2	0002	コンプレッサー	1	4	30	9		165,000	10		23,377			23,377	6	消費税加算漏れ 150,000円
05		6	0001	エアコン	1	5	2	5		210,000	6		17,593			17,593		
06	2	6	0002	キャビネット	1	5	2	5		100,000	15		37,061			37,061	4	２台のうち１台減少
07	1	1		カナアミフェンス	1	5	8	3		1,200,000	10		1,076,400			1,076,400		
08	1	6		パソコン	3	5	7	5		630,000	6		360,385			360,385	1	令和８年度申告漏れ
09	1	6		プリンター	1	5	9	1	1	228,800	4		178,692			178,692	1	元日取得
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		
16																		
17																		
18																		
小計					11					10,733,800			3,881,093					

全資産・電算申告する方は必ず記入してください。

〈資産の種類〉
１：構築物
２：機械及び装置
３：船舶
４：航空機
５：車両及び運搬具
６：工具、器具及び備品
番号を必ず記入してください。

〈異動区分〉
資産の異動がある場合
１：増加
２：減少
３：訂正
番号を必ず記入してください。

〈取得年月〉
年号の欄は
５：令和
４：平成
３：昭和
番号を必ず記入してください。

〈元日取得〉
増加資産の取得日が１月１日である場合は、元日取得の欄に“１”を記入してください。

〈耐用年数〉
耐用年数省令または国税局長が認めた耐用年数を必ず記入してください。

〈増減事由〉
１：新品取得
２：中古品取得
３：売却
４：滅失
５：移動
６：その他
番号を必ず記入してください。

資産の種類ごとに取得価額を合計して、償却資産申告書の取得価額欄「前年中に取得したもの」にそれぞれ転記してください。
また、減少した資産についても減少した価額を「前年中に減少したもの」にそれぞれ転記してください。

償却資産申告書　取得価額の計（ニ）欄の合計額と一致します。